

## イベント会場等におけるガソリン及びLPガスの取扱い時の留意事項



### ガソリンの危険性

- 周囲の気温が $-40^{\circ}\text{C}$ でも揮発し、小さな火源でも引火する非常に危険な物質です。
- 揮発した蒸気は、空気より3~4倍重いので、広範囲に滞留します。



### ガソリンを入れる容器

- 消防法令に適合した金属製の容器に入れてください。
- 特に、灯油用ポリ容器（20ℓ）にガソリンを入れることは非常に危険ですので行わないでください。
- 消防法令により容量が制限されており、40ℓ以上保管する場合には、消防署への届出が必要です。



ガソリン携行缶

ガソリン用金属缶



灯油用ポリ容器（20ℓ）

### ガソリンの貯蔵・取扱い時の留意事項

- ガソリンは常に揮発しているので、その蒸気を容器から出さないように密栓しましょう。
- 保管場所は、高温とならないよう通風や換気の良い場所としましょう。
- 特に、夏場などはガソリン温度が上がって容器内の蒸気圧が高くなるので注意が必要です。
- ガソリンを取り扱っている周囲での火気や火花を発生する機械器具等は使用しないでください。
- ガソリン使用機器については、エンジン稼働中の給油は絶対にしないでください。



### ガソリンスタンド利用時の留意事項

- 消防法令の基準に適合した容器で購入してください。
- セルフスタンドでは、利用客が自らガソリンを容器に入れることはできません。



消防法令に適合した容器



セルフスタンドで利用客が自らガソリンを容器に入れることはできません。

～ 屋外でLPガスを使用する際の注意事項 ～



● 容器の置き方に注意しましょう。

- ・平らな場所に置き、倒れないように鎖などで固定してください。
- ・容器を含めガス器具のそばに燃えやすいものを置かないでください。
- ・直射日光などを避け、容器が高温にならないようにしましょう。
- ・通風や換気の良い場所に設置しましょう。

● 点火・消火を必ず確認しましょう。ガス使用中はその場を離れないでください。

- ・風や煮こぼれなどにより火が消えることもあります。
- ・ガス使用中はその場を離れないでください。

● 容器、接続管、こんろなどの器具をしっかりと確認しましょう。

- ・接続管は容器や器具と確実に接続されているか確認しましょう。
- ・接続管は随時点検し、早めに交換しましょう。ひび割れ等があるものは使用しないでください。

● 消火の準備をしましょう。

- ・消火器や水バケツなどを設置し、消火の準備をしておきましょう。
- ・消火器などの取り扱いについては、事前に確認しておきましょう。



多数の観客などが参加する行事において火災が発生すると、被害が甚大となるおそれがあります。特に、火気を使用する場合は注意が必要です！  
安全で楽しいイベントとなるよう、事前の防火安全対策をしっかりと行いましょう！

